

# カトリック河原町教会だより

## 2018年7・8月

北白川教会で「南部地区合同堅信式」 おめでとうございます



2018年5月20日(日)午後2時から北白川教会において、京都南部地区合同堅信式が行われました。南部地区からは、27名が大塚司教から堅信の秘跡を受けました。河原町教会の受堅者は6名でした。ミサ後には、和やかに茶話会のひと時もたれました。



### フォーエバーコミュニケーション ～変わり続ける 変わらない愛～

有馬温泉に行くために新開地から神戸電鉄に乗ると、鶴越(ひよどりごえ)駅の手前で、CM入りの車内放送が流れます。「次は鶴越です。〇〇売上関西ナンバーワン、♪〇〇コミュニケーション、カトー♪、にお越しの方は次でお降りください」という放送です。「〇〇コミュニケーション、カトー」という部分だけメロディー付きです。カトーというお店のCMだとわかりますが、この区間は急カーブと急勾配で走行音が大きく、音声の方も少し古くなっているようで、何が売り上げナンバーワンなのか、何のコミュニケーションと言っているのかも、聞き取れません。しかも、鶴越駅は都会の秘境駅の趣すら漂わせている寂しい駅で、下車する人もほとんど無く、「何ちゃらコミュニケーションカトーにお越しの方」がそう多くいるとも思えません。

一体何のCMなのか? 鶴越に一体何があるのか? もしかするとこのCMソングは、関東出身の私にはわからないけれど、タケモトピアノやあさひ美容外科のCMのように、関西人ならメロディーを聞いただけですぐにわかるという性質のものなのかもしれない…。そんなふうにも考えたりして、神鉄に乗るたびに謎は深まるばかりでしたが、ある時、一念発起してネットで「鶴越、車内アナウンス」と検索してみると、あっさり判明しました。「墓石売上関西ナンバーワン、♪フォーエバーコミュニケーション、加登♪」と言っていたのです。加登という墓石会社の支店が鶴越霊園にもあるので、あの車内CMを流しているようです。

しかし、謎は判明しても、今度は、この「フォーエバーコミュニケーション」という素晴らしき和製英語の意味深長さに、黙想に



### 洛東ブロック担当 菅原 友明 神父

誘われてやみません。フォーエバーは「決して変わらずに」を、コミュニケーションは「交わりによって変わっていくこと」を、それぞれ想起させるので、フォーエバーコミュニケーションという一語の中で、「変わらない永遠」と「変わり続ける永遠」が交差しているし、しかも連語としての妖しい調和を保っているのです、あまりにも魅力的な響きです。しかも、これが墓石会社のCMソングであることが、死こそ、そして石(鉱物性!)こそ、究極のコミュニケーションであることを語っているようで、哲学的・宗教的な色彩をも見事に放っています。

聖書にこんな言葉があります。「主は、人々からは見捨てられたのですが、神にとっては選ばれた、尊い、生きた石なのです」(1ペトロ2・4)。また、こうもあります。「人は皆、草のようで、その華やかさはすべて、草の花のようだ。草は枯れ、花は散る。しかし、主の言葉は永遠に変わることがない」(同1・24-25)。この言葉は、草や花の、つまり私たち人間の虚しさを語っているのではなく、枯れて散るからこそ永遠である私たちの本質を示しているのだと思います。滅びないということではなく、むしろ、変わり続けるからこそ変わらない、そこに三位一体の神の「フォーエバーコミュニケーション」があり、その似姿を生きる私たちの愛があるはずで。

今年も夏がやって来ました。有馬温泉へお出かけの際は、鶴越の車窓から目に飛び込むまぶしい緑に、草に、花に、「フォーエバーコミュニケーション」を感じてみてはいかがでしょうか。

## 福岡一穂神父・森田直樹神父 司祭叙階銀祝 おめでとうございます

4月21日(土)11時から河原町教会聖堂で、インマヌエル福岡一穂神父と、洗礼者ヨハネ森田直樹神父の司祭叙階25周年銀祝感謝ミサが執り行われました。聖堂いっぱい集った会衆が、お二人の司祭の銀祝を祝い感謝と賛美を捧げました。

インマヌエル 福岡一穂神父(京都教区山城ブロック)

生年月日 1963年12月20日(高槻市出身)

司祭叙階 1993年 4月25日 田中健一司教より

洗礼者ヨハネ 森田直樹神父(仙台教区派遣)

生年月日 1965年6月23日(京都市出身)

司祭叙階 1993年4月25日 田中健一司教より



### 森田直樹神父司式「世界召命祈願の日」のミサ説教

銀祝感謝ミサの次の日は「世界召命祈願日」で、河原町教会出身である森田直樹神父の司式で捧げられました。

今から20数年前ですが、神父になったばかりの頃イスラエルに行くチャンスがありました。そこでバスの中から外を見ると丘の斜面にたくさんの羊の群れがいました。羊たちは一斉にこちらを向いており、これはチャンス、入門講座にも使えるとばかりにゴソゴソ荷物の中のカメラをさがしていました。すると一瞬の間に、羊たちはいつの間にか一斉に向こう側を向いていました。今までこちらを向いていた羊たちは、羊飼いの声を聞いて、揃ってその方に向いたのです。その時、「ああ、何て素晴らしい」と思わずその光景に見入り、羊の従順さと共に「羊飼いのすごさ」というものを感じました。

今日の福音には「わたしは自分の羊を知っている。羊もわたしを知っている」とあります。この「知っている」という言葉は、ただ単に顔を知っている、名前を知っているということだけではなく、もっともっと深い関わりがあることを示しています。今日のみ言葉は、イエス様と御父である神が一つであるように、羊飼いは、この羊たちを「知っている」のだということです。私たちはそれほど意識していないかも知れませんが、イエス

様は皆さん一人ひとりを本当に大切な羊だと思って、心にかけていてくださいます。皆さんが知っている以上に、神の憐れみ、ゆるし、いつくしみは、はるかに、はるかに広くて深いものです。もしかすると皆さんは、「こんな私に、神様がそんなことをしてくださるはずがあるだろうか」と決めつけておられるかも知れません。

実は先ほどミサの直前に、私は香部屋で手をぶつけて怪我をしてしまいソバドエイドを貼っています。せっかく良いお話をしようと思っているのに神様はどうして邪魔をされるのか、と思わず呟きたくてしまいました。でも、わたしを含め、実は神様は良い羊飼いとして、皆さん一人ひとりを本当に大切になさり、親身になって支え導いてくださる方です。それが「良い羊飼いは羊を知っている」ということです。

では、私たちは羊飼いに対してどうすればよいのでしょうか。「ああ、神様、ありがとうございます」だけではなく、私たち一人ひとりも、より良く、深く、広く、羊飼いであるイエス様とつながって行くということが求められるのだと思います。私た

ちの思い、私たちの弱さ、私たちの罪にも増してイエス様の思いは広く深いので、私たちはありのままの姿を差し出し、「どうかイエス様、私をおささげいたします。私と共に歩んでくださることを感謝します」という、賛美と感謝の心を深めていくことが大切なのかもしれません。

さて、イエス様は2000年前に天に昇られました。今私たちは、直接この目でイエス様を見ることはできません。しかし、私たちは聖書朗読によってイエス様の声を聞き、御聖体拝領によってイエス様の命をいただきます。そういう意味で言うると私たちは毎週毎週、日曜日にイエス様と出会っていることになります。このイエス様のはからい、イエス様の配慮、イエス様の支え、イエス様の導き、これを教会は一つの奉仕職を通してお与えになります。それが「司祭職」です。

神父さんというのは「聖なるもの」であるから、「明日から森田神父の爪の垢でも煎じて飲まなければならない」、ということではありません。私たち司祭は叙階の秘跡を通して、皆さんに、またすべての人にお仕えするという奉仕をいただきます。これが司祭職の本質なのだと思います。私は、皆さんがよく見えるように壇の上から皆さんを見下ろしてお話をしていますが、申し訳ない…私たちの本来の奉仕職というのは、皆さんが神の子として生き生きと生きていくことができるように、一人ひとりが本当に輝かせて人生を歩むことができるように、それを支え助け、導くためのお手伝いをさせていただく、そのための奉仕職です。

そして今日は「世界召命祈願日」にあたっていますが、このような奉仕に一人でも多くの方が関わっていただきたいと思えます。「召命…それは若い人に任せればよい。私はもう召命には関係がない」と思われる方が、もしかしたらおられるかも知れませんが、現代の教会では「召命」を司祭、修道者、奉献生活者になることだけであるとは考えてはいません。実は、洗礼を受けた皆さん一人ひとりに使命があり、洗礼を受けた一人ひとりはお客様ではありません。洗礼によって神の子とされた私たち一人ひとりが、神様のために、または世界

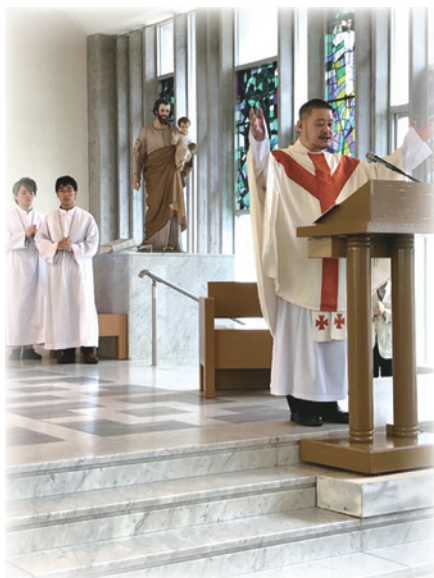


の人々のために奉仕するつとめがあります。ある人は誰かのことをよく目配りしてお世話をする、そういう奉仕かも知れませんが、またある人は誰かの悩み事を聞く、そういう奉仕に招かれているかも知れませんが、またある人は誰かのところへ出向いていく、そういう奉仕に招かれているかも知れませんが、またある人は、より深い祈りのなかで神様に向かっていく、そういう奉仕を任せられているかも知れませんが、「召命」というのは決して若い人の問題だけではありません。ここに集う一人ひとりが、この召命に関わり、それに生きるよう招かれています。

「わたしは良い羊飼いである」、イエス様ははっきり、ご自分のことをこう言われます。皆さんもたまに聞かれるかも知れませんが、「京都人はイケズだ」と言われ本にも出ています。そのように聞くと、「そうかも知れない」と思うこともありますが、イエス様は決してイケズな羊飼いではありません。イエス様は「良い羊飼い」と言われます。「良い」は善悪の「善」ではなく、「役に立つ」という意味合いの「良い」です。

私たち一人ひとりの召命に気づき、それを心に留めながら「良い羊飼い」であるイエス様と共に歩んで行く、その決意を新たにして、神様に感謝と賛美をささげてまいりましょう。

(文責:編集委員)



## 心地よい琵琶湖の風に吹かれて キム神父様と楽しい遠足 ～土曜学校報告～

5月26日、大津教会と大津市科学館をたずねました。好天に恵まれたこの日、まず大津教会に行きました。教会ではキム神父様が出迎えてくださり、皆で聖堂で祈り、神父様のお話を聞きました。お菓子と飲み物をいただいて記念撮影をした後、神父様と一緒に琵琶湖畔を歩いて膳所城跡公園に向かいました。

美しい琵琶湖の景色と心地よい風、そしてキム神父様との楽しいおしゃべりで…あっという間に膳所城跡公園に着きました。公園でお弁当を食べて遊んだ後、近くの大津市科学館へ。ここでキム神父様とはお別れです。神父様は評議会へのご出席のため教会に帰られました。大津市科学館では展示を観たり体験した後、館内にあるプラネタリウムを見学して帰途につきました。初夏の、楽しい遠足の日でした。

お忙しいところ遠足にお付き合いいただき、子どもたちと遊んでくださったキム神父様に感謝！

(教育部 奥埜さと子)



キム神父と大津教会聖堂で



聖堂後部



大津教会入り口階段で



近江大橋たもとの膳所城跡公園まで 湖畔を歩く



大津市科学館展示場では“興味津々”

「日本カトリック平和旬間」は、聖ヨハネ・パウロ二世が訪日された1981年に広島平和公園で全世界に向けてされた平和アピールにこたえて設けられたものです。(8月6日～15日まで)

～教皇ヨハネ・パウロ二世の祈り～

人間一人ひとりと諸国の民の母マリアよ、  
わたしたちをおびやかす悪の力に打ち勝てるよう、お助けください。  
現代人の心にこれほど容易に根ざしてしまう悪、  
そのもたらす計り知れないもろもろの結果によって、  
すでに現代の人々のいのちを危険にさらし、  
未来への道を閉ざそうとしている悪からわたしたちをお救いください。  
飢餓と戦争、核戦争、計り知れない自己破壊、  
あらゆる戦争より、主よ、わたしたちをお救いください。  
あがないと救いの無限の力、神の慈愛の力が世界の歴史において、再び発揮されますように。  
神の慈愛が悪を押しとどめ、人間の良心を正し、あなたの汚れなきみこころによって、  
希望の光がすべての人々に示されますように。



フラ・アンジェリコ画『影の聖母』

## 大和八木教会へ「ぶどうの会」巡礼バスツアー “恵みの一日”

入梅間近の6月2日は神様のお恵みの快晴で、「ぶどうの会」巡礼バスは予定通り出発しました。車中での祈り、母が祈りをこめて焼いたレモンケーキ、優しいおしゃべりをお共にして。

大和の自然につつまれた大和八木教会に到着すると、八木共同体の皆様が、大きなぶどう棚と白いガザニアの花の咲くなか、温かく出迎えてくださり、一場神父様司式の御ミサに与りました。

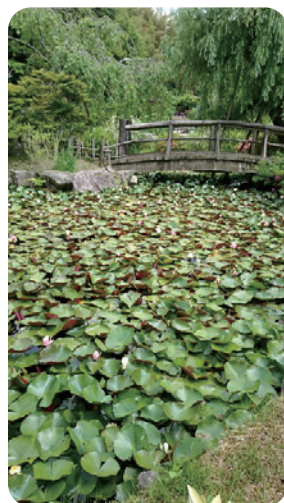
山菜精進料理の“橋本屋”でのお昼を美味しくいただき、次に向かった“滝谷花しょうぶ園”では、まだ半分ほどがつぼみの初々しい五分咲きのしょうぶと、今まさに満開の桃色の睡蓮がそれは美しく、そこはまるでクロード・モネの『睡蓮・緑のハーモニー』そのものです。しばらく立ち止まり、神様のあふれるお恵みに感謝しました。

“三輪そうめん山本”では、大きな一枚テーブルに集う皆様が、私にはまるでダ・ヴィンチの『最後の晩餐』の絵のように思えたほどです。今日一日に感謝しながら、手延べそうめんのお話とおいしい一口をいただいて、和やかなひと時を過ごしました。

お恵みいっぱい的一天を、ありがとうございました。(大橋宣美<sup>よしみ</sup>)



一場神父と共に



美しい睡蓮としょうぶ (滝谷花しょうぶ園)

### 洛東ブロック平和旬間行事

#### 『ラウダート・シ』からの学び ミサと講演

日時:8月5日(日)10時30分～ 平和祈願ミサ  
11時45分～ 講演  
場所:カトリック河原町教会聖堂

#### 『ラウダート・シ』のよびかけ水

講師:菅原 友明神父  
(洛東ブロック担当司祭)

[講演は約1時間の予定です]

### 敬老感謝ミサと懇親会のご案内

感謝ミサ 2018年9月16日(日)10時30分  
懇親会 ミサ後 ヴィリオンホール

今年も75歳以上の信徒の皆様と共に「敬老感謝ミサ」が捧げられます。

ミサ後は、ヴィリオンホールで昼食を共にし、楽しい交わりのひと時をもちたいと思います。

お誘い合わせの上、ぜひ多数ご参加ください。



ムリーリョ画『貝殻を持つ幼児たち』

## ◇ 2018年7月～9月の行事予定 ◇

(予定は変更になる場合があります)

月	日	曜日	行事予定
7	1	日	[年間第13主日] ペトロ岐部と187殉教者列福10周年記念ミサ 大塚司教霊名〈パウロ6/29記念日〉のお祝い 10:30ミサ 済州教区交流会 10:30ミサ後 評議会7月例会 12:30
	8	日	[年間第14主日]
	15	日	[年間第15主日]
	22	日	[年間第16主日]
	28	土	洛東ブロック会議(河原町教会) 14:00
	29	日	[年間第17主日] 教会美化デー
8	5	日	[年間第18主日]～7日(火) 教区中学生広島平和巡礼 洛東ブロック平和旬間行事ミサ10:30・講演11:45
	6	月	[主の変容] 日本カトリック平和旬間(15日まで)
	8	水	～10日(金) 土曜学校錬成会
	12	日	[年間第19主日] 評議会8月例会10:30ミサ後
	15	水	[聖母の被昇天] ミサ7:00・10:30
	19	日	[年間第20主日]
9	25	土	教区教会学校教師研修会 10:00
	26	日	[年間第21主日] 田中司教霊名〈ライムンド8/31記念日〉のお祝い 10:30ミサ
	2	日	[年間第22主日] 評議会9月例会10:30ミサ後 被造物を大切に祈る世界祈願日
	8	土	小教区評議会役員交流会 10:00
	9	日	[年間第23主日]
	14	金	[十字架称賛]
9	16	日	[年間第24主日] 敬老感謝ミサ10:30・懇親会 ミサ後(ヴィリオンホール)
	23	日	[年間第25主日] 中高生会コーヒーショップ 10:30ミサ後(1F集会室) 世界難民移住移動者の日(献金)
	30	日	[年間第26主日] 教会美化デー

## 河野 進の「詩」をふたつ

河野 進(1904～1990・日本基督教団岡山玉島教会牧師、詩人)



## 「朝」

朝にならない 夜はない  
夜にならない 朝はない  
喜びにならない 悲しみはない  
悲しみにならない 喜びもない

## 「ゆたかに」

いつも 右の手は よろこんで施し  
左の手は よろこんで忘れる  
きよい川のように  
ゆたかに流れて



## 河原町教会 ミサの時間

日曜日 (主日のミサ)

7:00

10:30

\*英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 18:30

土曜日 6:30 18:30

(主日のミサ)

## 信仰の学びのお知らせ

## ◇信仰入門講座◇

(1F集会室)

水曜日 15:30	一場 修 神父
木曜日 19:00	一場 修 神父
金曜日 11:00	一場 修 神父
金曜日 19:15	村上 透磨 神父
水曜日 10:30 [洗礼準備講座]	ユン・サンホ 神父
木曜日 10:30	ユン・サンホ 神父
金曜日 17:30	菅原 友明 神父
土曜日 11:00	菅原 友明 神父
17:00	菅原 友明 神父

※洗礼準備講座をご希望の方は教会事務室まで

## ◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】第1土曜日19:30～20:30

菅原 友明 神父

【伏見教会】毎火曜日10:00ミサ後～11:30

ユン・サンホ 神父

毎木曜日14:00 菅原 友明 神父

【桃山教会】毎火曜日15:00 菅原 友明 神父

## ◇南部地区信徒養成講座◇

(6F会議室/毎月1回水曜日)

大塚 乾隆 神父「典礼を学ぶ」

7月11日(水)・9月12日(水)

13:30～14:50

## ◇『ラウダート・シ』読書会◇

(1F集会室/毎月2回 第2・4木曜日)

14:00～15:30

指導: Sr. メリー・レベッカ・我部

## ◇主日の福音を読む集い◇

(3F・301号室)

毎週日曜日9:30～10:15